

1. 職名・氏名 助教 永井 裕子2. 学位 学位 修士、専門分野 社会福祉学、授与機関 日本福祉大学、  
授与年月 2006年3月

## 3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
<b>①ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（1単位・2年次）、Ⅱ（1単位・3年次）、ソーシャルワーク実習（4単位・3年次）</b>
②内容・ねらい 「相談援助実習・実習指導ガイドライン」に基づき、社会福祉士として必要な知識、技術、価値および関連知識を再確認し、ソーシャルワーク実習に耐え得る専門的な力量を備えること。実習計画書に基づき現場実習を行い、実習後は実習報告書の作成および実習報告会において報告を行う。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 実習関連科目 個別の実習課題に応じて個別指導および集団指導を行う。本人の学びの目標や課題および実習成果を言語化し、今後の自身のソーシャルワーク実践に展開できるよう添削、個別面談での対話を重視している。
<b>①福祉のまちづくり論（2単位）1年次</b>
②内容・ねらい 福祉のまちづくりを展開している実践家による講義とグループディスカッションから、地域における生活課題とその改善に向けた社会資源の把握および新たな創造の可能性について理解する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 実際の福祉のまちづくりのプロセスとして地域福祉計画の住民懇談会ワークショップを体験したり、実践者・当事者をゲストとして招聘することで、学生が地域での具体的なまちづくり実践について多面的に学べるよう工夫した。 <b>ゲストスピーカー5人</b>
<b>①SW演習Ⅱ（2単位）2年次、3年次</b>
②内容・ねらい いかに理論を実践に移すか、個人に対するソーシャルワークの展開はもとより、集団や地域を対象としたソーシャルワークにくわえて、ケアマネジメントを展開する専門技能を習得する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 地域を基盤としたソーシャルワークを理解するために、事例を用いて実際の地域のイメージをしながら、小グループでディスカッションや事例検討を行った。
<b>①入門演習（2単位）1年次</b>
②内容・ねらい プレゼンテーションやディスカッションの方法を学び、能力を養うために、各自が興味を持つテーマについて、発表の技術や討論の方法などを実践的に学ぶ。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） テキストを用いて輪読し、プレゼンテーションやディスカッションの基礎を学んだ。また、越前市社会福祉協議会の大学連携広報事業として、広報誌の作成にかかわり、取材から記事執筆、レイアウト等を担当した。 <b>フィールドワーク1件</b>

**①福井を学ぶ（2単位）リレー講義 1～3年次**

②内容・ねらい

福井県立大学で学び始めた新入生が、福井という地域の特性について幅広く学ぶとともに、福井が有する多様な資源を世界的な視点のなかに位置づけ、地域において本学が果たす役割を理解する。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）

リレー講義のなかで「福井の暮らしと福祉のまちづくり」をテーマとして、福井の家族形態や子育ての現状を中心に、福祉のまちづくりについて事例やデータを用いて講義を行った。

**①ソーシャルワーク特別講義B（1単位）4年次**

②内容・ねらい

池田町に暮らす人びと（高齢者・若者）とのコミュニケーションを通して、人の暮らしと地域との関係性について理解を深め、コミュニティソーシャルワークの端緒とする。また、デザイン思考を取り入れたコミュニティの課題へのアプローチを学ぶ。

**フィールドワーク1件**

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）

デザイン思考を援用して、池田町での住民の思いや生活をどのようにまちづくりに生かすかについて、フィールドワークやふりかえりを通して考え、住民に対して報告会や報告書としてフィードバックした。

3年次に行ったソーシャルワーク実習をベースとして、人や地域の多面的な理解を促した。

**(2)非常勤講師担当科目**

①担当科目名（単位数） 開講学校名 福井大学 （2単位）3年次

②内容・ねらい（自由記述）

- （1）地域福祉は、地域社会にどのようなアプローチをする福祉なのかを理解する。
- （2）多様な地域福祉の課題を取り上げ、これらにいかなる援助が行われているのかを知る。
- （3）地域で生活する要援護者の実情をとらえ、生活上の問題点を改善する視点を獲得する。
- （4）地域福祉に関連する公私の機関や組織を知り、さらに住民参加の必要性を理解する。

④本学における業務との関連性（自由記述）

地域福祉に関する研究の一環として、学生の基礎的知識に合わせた教育プログラムの検討を行うことができた。

① 担当科目名（単位数） 開講学校名  
現代社会と福祉 日本福祉大学中央福祉専門学校（通信課程 レポート添削）

②内容・ねらい

日本の社会福祉および福祉政策における理念・思想・運営等について歴史的な変遷を踏まえて理解する。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

国家試験に頻出する重要語句を中心に課題として取り上げるよう努めている。

④本学における業務との関連性

専門学校において社会人経験を有する学生の社会福祉士養成に資することで、その多様な学びの形態や教育成果を本学の教育に活かしたいと考えている。

#### 4. 研究業績

<b>(1)研究業績の公表</b>
①論文 (タイトル、共著者の有無(共著の場合は主たる担当箇所について)、掲載雑誌名(号数)、掲載(受理)年月日) 塚本利幸・舟木紳介・橋本直子・永井裕子「ボランティア活動参加の様態の検討1」(2022) 福井県立大学論集第58号,53-84 塚本利幸・舟木紳介・橋本直子・永井裕子「ボランティア活動参加の様態の検討2」(2022) 福井県立大学論集第58号,85-116
②著書 菅野道生編(共著)「地域福祉計画の策定業務」『シリーズ今日から福祉職 押さえておきたい地域福祉・社会福祉協議会』(2022)ぎょうせい 松原康雄他編(共著)「在宅福祉・地域福祉の推進」『新基本保育シリーズ 4 社会福祉第二版』(2022)中央法規
③学会報告等 (タイトル、報告学会(大会)名(開催年月日)、共同報告者の有無(共同報告の場合は主たる担当箇所))
④その他の公表実績
<b>(2)学会活動等</b>
学会でのコメンテーター、司会活動(担当報告名、担当学会(大会)名(開催年月日))
学会での役職など(学会名) 日本地域福祉学会地方部会委員
学会・分科会の開催運営(担当学会(大会)名(開催年月日)、開催場所) 日本地域福祉学会地方部会企画・運営(年1回程度)
<b>(3)研究会活動等</b>
①その他の研究活動参加(参加研究会名、調査活動名(期間))
②その活動による成果
<b>(4)外部資金・競争的資金獲得実績</b> 公益財団法人日本生命財団高齢社会実践的課題研究助成「地域共生社会」の実現に向けた社会関係資本の実証的研究(研究代表者:塚本利幸)(研究分担者)
<b>(5)特許出願</b>

## 5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
①国・地方公共団体等の委員会・審議会（それぞれの名称、業務内容、担当期間） 福井県重層的支援体制整備事業移行支援アドバイザー 福井市地域共生社会推進代表者会議委員長 福井市都市計画審議会委員 敦賀市重層的支援体制推進会議アドバイザー 坂井市地域福祉計画部会委員
②国・地方公共団体等の調査受託等（それぞれの名称、業務内容、活動期間）
③（公益性の強い）NPO・NGO 法人への参加（それぞれの名称と活動内容、活動期間） 福井県主任介護支援専門員更新研修講師（2022年度） 勝山市社会福祉協議会ボランティア運営委員会アドバイザー（2022年度） 永平寺町社会福祉協議会地域福祉活動計画中間評価アドバイザー（2022年度） 社会福祉法人足羽福祉会苦情解決第三者委員（2022年度） 社会福祉法人和楽園評議員（2022年度） 有料老人ホームサンライフ小野谷顧問（2022年度） 坂井市社会福祉協議会発展強化計画アドバイザー（2022年度） 足羽福祉会実践研究報告会アドバイザー（事例検討3回、報告会） 足羽福祉会虐待防止委員会コメンテーター（2022年度） 大野市大野地区社会福祉協議会20周年記念式典基調講演（10/15） 大野市社会福祉協議会福祉委員研修（11/14） 福井市地域包括ケア推進課主催地域共生社会研修（12/15） 敦賀市重層的支援体制整備事業研修（2023/2/16）
④（兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動（企業名、活動内容、活動期間） 株式会社 LAMP（事業内容：コワーキングスペース及びシェアオフィス）代表取締役
⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等 （事業名称及び主催・共催者名、活動内容、活動期間）
⑥その他（名称、活動場所、活動期間）
(2)大学が主体となっている地域貢献活動等
①公開講座・オープンカレッジの開講（タイトル名、開催場所、開催日時） ・公開講座「アサーティブトレーニング体験講座：セルフケアのためのコミュニケーション」 （zoom）講師：中野満知子氏 2022年6/18,7/9,10/8,11/5 ・オープンキャンパスでのゼミ紹介 2022年8/7
②社会人・高校生向けの講座（タイトル名、開催場所、開催日時） 勝山高校探求授業アドバイザー（2022年11/8,2023年1/31）
③その他（名称、活動場所、活動期間）
(3)その他（個人の資格で参加している社会活動等） （活動内容、主たる活動場所、活動期間）

6. 大学の管理・運営

(1) 役職 (副学長、部局長、学科長)
(職名、期間)
(2) 委員会・チーム活動
(名称、期間) ・ 看護福祉学部 SIM・ICT 部会メンバー
(3) 学内行事への参加
(行事名、参加日時)
(4) その他、自発的活動など
(活動名、活動内容、活動期間)